

エコアクション21

～ 環境活動レポート ～



白半建設株式会社



平成26年 8月 29日 作成

(実施期間 平成25年7月～平成26年 6月)

目 次

1. 環境方針	...	2
2. 組織の概要	...	3
(1) 事業所名及び代表者氏名		
(2) 所在地		
(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先		
(4) 事業内容		
(5) 事業の規模		
(6) 事業年度		
(7) 認証・登録の対象範囲		
(8) 実施体制図		
3. 環境目標	...	5
4. 環境活動計画	...	6
5. 環境目標の実績	...	7
6. 環境活動計画の取組結果と評価、今後の取り組み	...	8
7. 環境関連法規等の取りまとめ・遵守評価結果	...	9
8. 代表者の全体評価と見直し結果	...	10

1. 環境方針（エコアクション21）

環境理念

当社は、建築工事の設計・施工の事業活動を行うに当たり、環境経営システムを構築・運用し、環境に対する社会ニーズを的確に捉え、自主的、積極的に、環境への取り組みを推進します。

そして「地域に密着して高い顧客満足を提供する会社」を目指します。

行動指針

1. 当社に適用される環境関連法規制や当社が約束したその他の要求事項を順守します。
2. 当社の事業活動において、具体的な環境目標及び環境活動計画を定め実施します。
 - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ②分別の徹底・リサイクルを推進し、廃棄物排出量を削減します。
 - ③節水に努め総排水量を削減します。
 - ④事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑤環境に配慮した工事及び建築物の提供に努めます。
 - ⑥社会貢献活動を積極的に行います。
3. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

制定日 平成23年10月1日

白半建設株式会社

加藤 大志朗

作成日：平成 23 年 10 月 1 日
改訂日：平成 25 年 5 月 1 日
作成者：加藤大志朗

2. 組織の概要

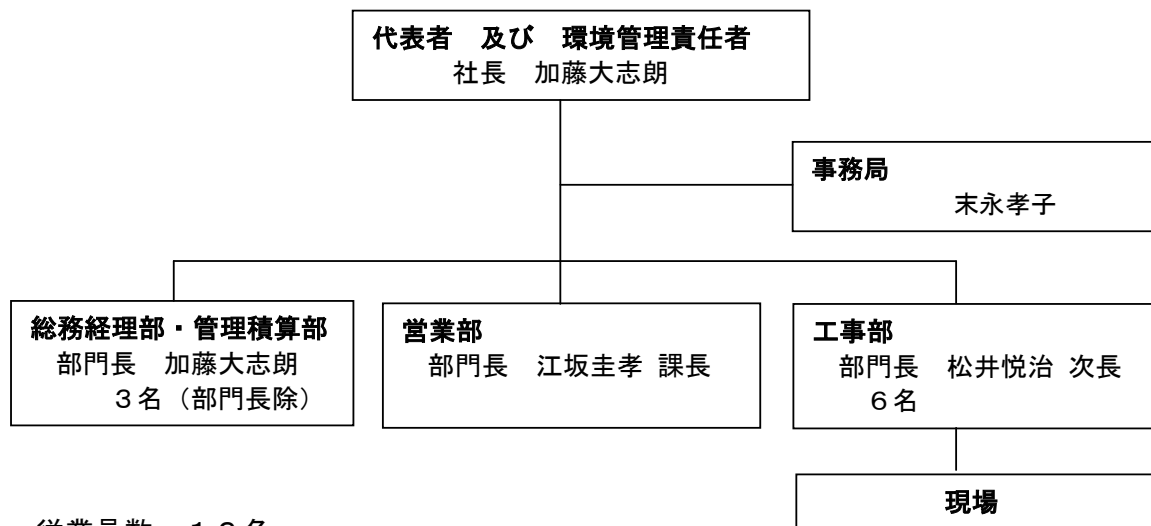
- (1) 事業者名及び代表者名
白半建設株式会社
代表取締役社長 加藤大志朗
- (2) 所在地
本社 : 愛知県刈谷市司町 9 丁目 45 番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先
責任者 : 加藤大志朗
担当者 : 末永 孝子 (TEL 0566-21-5121)
- (4) 事業内容
特定建設業 許可番号 特 24 第 045298
(建築工事業・土木工事業)
一般建設業 許可番号 般 24 第 045298
(大工、とび・土工、舗装、内装仕上、造園、水道施設)
愛知県産業廃棄物収集運搬業 許可番号 02300032082
名古屋市産業廃棄物収集運搬業 許可番号 06400032082
ただし、自社以外の収集運搬はしない
宅地建物取引業 許可番号 (8) 第 137145 番
- (5) 事業の規模
法人設立年月日 : 昭和 26 年 7 月 1 日
資本金 : 3000 万円
売上高 : 5.6 億円 (平成 26 年 6 月期)
従業員数 : 12 名 (平成 26 年 6 月末日)
延べ床面積 : 634 m²
敷地面積 : 3335 m²
- (6) 事業年度 7 月～6 月
- (7) 認証・登録の対象範囲 : 全組織・全活動

実施体制図

作成日：平成23年10月1日

改訂日：平成26年3月4日

作成者：加藤大志朗



	担当	役割・責任・権限
代表者	社長	環境管理責任者を任命する。 環境方針作成、資源（人員・設備・費用等）の準備をする。 代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	社長兼務	代表者になり、環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。外部からの苦情の受付と、必要な対応および結果の記録 環境関連文書の素案作成など。
事務局	末永	環境関連文書および記録の素案作成、管理など。
部門長	江坂課長 松井次長	エコアクション21取り組みの実施。 実施状況確認をし、記録を事務局に提出する。
全従業員		環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境目標

作成日:平成23年10月1日 作成者:加藤大志朗

環境目標は事務所と現場に区分した目標とする。 改訂日:平成24年8月1日 作成者:加藤大志朗

項目	部署 区分	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	年度削減目標		
				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
二酸化炭素 排出量	全社	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	46,533 (目標分)	8% 42,980	9% 42,518	10% 42,054
	事業所	電力使用量の削減	kWh	28,456	20% 22,765	21% 22,480	22% 22,196
		ガソリン使用量の削減	L	5,510	2% 5,400	3% 5,345	4% 5,290
	現場	ガソリン使用量の削減	L	8,638	2% 8,465	3% 8,379	4% 8,292
廃棄物 排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	(平成23年度) 0.272	データ収集	2% 0.267	3% 0.264
	現場	産業廃棄物(事務所への 持込みゴミ)の削減	t	23	2% 22.5	3% 22.3	4% 22.1
総 排水量	事業所	水使用量の削減	m3	81	2% 79.4	3% 78.6	4% 77.8
グリー ン購入	事業所	事務用品の グリーン購入	購入割合 点数	(平成23年度) 25点、30%	データ収集	32% 26点	33% 27点
環境配 慮建設	現場	環境配慮工事	件数	(平成23年度) 0件	データ収集	年1件	年1件
社会 貢献	全社	会社周辺の清掃	件/年	0	2回/年	2回/年	2回/年

化学物質に関しては、当社では直接使用しない。
毎年、代表者による見直しを踏まえて目標値を見直す。

4. 環境活動計画

「平成24年度」(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

作成日:平成24年7月1日 作成者:加藤大志朗

	環境目標項目	取り組み内容	担当部門 (担当者)
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場27度、冬場20度設定)	総・管
		中間期 室内適正管理	総・管
		不要電気を消す (12～2月 冷蔵庫停止)	総・管
		OA機器適正管理	管理 社長
		電気使用機器の買換え	管理 社長
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	営業 加藤
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	工事
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の削減 (両面コピー、裏紙使用)	総・管
	産業廃棄物(事務所への持込みゴミ)の削減	処分業者へ直接持込実施	工事
水総量排水	水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	総・管
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務用品のグリーン購入	総・管
環境配慮施設	環境配慮工事	環境配慮工事の施工(受注時確認)	営業
社員貢献会	会社周辺の清掃	会社周辺清掃の実施 (東・北道路、歩道橋。年2回)	全社員

5. 環境目標の実績

作成日:平成25年7月16日 作成者:加藤大志郎

項目	部署 区分	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	目標	実績	増減	結果
				平成22年度	平成25年度	平成25年度	%	○×
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	46,533 (目標分)	10% 42,054	36,099	86%	○
	事業所	電力使用量の削減	kWh	28,456	22% 22,196	17,595	79%	○
		ガソリン使用量の削減	L	5,510	4% 5,290	4,407	83%	○
	現場	ガソリン使用量の削減	L	8,638	4% 8,292	5,991	72%	○
廃棄物排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	(平成23年度) 0.272	3% 0.264	0.238	90%	○
	現場	産業廃棄物(事務所 への持込みゴミ)の削減	t	23	4% 22.1	15.4	70%	○
総排水量	事業所	水使用量の削減	m3	81	4% 77.8	99.0	127%	×
グリーン購入	事業所	事務用品の グリーン購入	購入割合 点数	(平成23年度) 25点、30%	33% 27点	33% 28点	1点増	○
環境配慮建設	現場	環境配慮工事 (受注時確認)	件数	(平成23年度) 0件	年1件	1件	100%	○
社会貢献	全社	会社周辺の清掃	件/年	0	2回/年	4回実施	100%	○

評価:○は達成、×は未達成

毎年、代表者による見直しを踏まえて目標値を見直す。

電力使用量のCO2換算係数 中部電力の平成21年度(0.474kgCo2/kwh)を使用。

※ 廃棄物排出量(現場)「石膏ボードのリサイクル」に関するデータ収集

(ボードリサイクル/全排出量)

(ボードリサイクル/全ボード排出量)

余熱ホール改修工事

13.1/423.41=3.9%

13.1/13.7=95.5%

カッター刈谷物流増築工事

0/153.8 = 0%

0/0=0%

ただしかッター刈谷物流に関しては、7月1日以降において排出があり。

6. 環境活動計画の取組結果と評価、今後の取り組み

「平成25年度」(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

作成日:平成26年7月25日 作成者:加藤大志朗 ○:実施、△:一部未実施、×:未実施

	環境目標項目	取り組み内容	担当部門 ○△×	取組結果と評価、今後の 取り組み
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場27度、冬場20度設定)	総・管 ○	◆取組結果と評価 ◇二酸化炭素:目標の86% ◇電力:目標の79% 評)暖房期超過が昨年に比べ 少なくなった。今後12～2月 を引き続き重点に取り組みたい ◇ガソリン:目標の72～83% 評)工事での減巾が大きい 現場が近いと思われる。 ◆今後の取り組み: 今冬暖房費用の削減の検討 (特に12月～2月)
		中間期 室内適正管理	総・管 ○	
		不要電気を消す (12～2月 冷蔵庫停止)	総・管 ○	
		OA機器適正管理	管理・社長 ○	
		電気使用機器の買換え	管理・社長 ○	
ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	営業 ○		
ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	工事 ○		
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の削減 (両面コピー、裏紙使用)	総・管 ○ (現状把握)	◆結果 ◇一般ゴミ 90% ◇持込みゴミ 目標の70% 評)持込みゴミ共⇒一定の意識 づけが出来た ◆今後 更なる意識向上教育。 石膏ボードリサイクルについて の検証(余熱、カリツ-)
	産業廃棄物(事務所への 持込みゴミ)の削減	処分業者へ直接持込実施	工事 ○	
総排水量	水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	総・管 ○	◆結果 目標の127% この半年で 月7m ³ で安定してきている。 ◆今後 直近の数字を基に 目標値の再設定を検討
グリーン購入	事務用品の グリーン購入	事務用品のグリーン購入	総・管 ○	◆結果 1点増(対目標) 評)総務・管理の意識が高まった ◆今後 引き続きグリーン購入 を心がける(減も予想し) 意識を全社に広めたい
環境配慮	環境配慮工事	環境配慮工事の施工	営業 ○	◆結果 1件 評)長谷川邸の砕石杭 についてののみ。 ◆今後 全社教育を通じ 意識を高めていきたい。
社会貢献	会社周辺の清掃	会社周辺清掃の実施 (東・北道路、歩道橋。年2回)	全社員 ○	◆結果 4回実施した 評)市内建設団体清掃も引続 参加。年4回実行できた。 ◆今後 年4回を継続して いきたい。(2年目)

7. 法規制についての遵守評価の記録

作成日:平成23年10月1日 作成者 加藤大志朗

評価日:H26年 7月 25日

遵守評価

適用法令等	内 容	遵守項目	○×
産業廃棄物 処理法	産業廃棄物の適正分別と保管場所の確保		○
	産業廃棄物の適正処理	委託契約書の確認	○
	マニフェスト(管理票)交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理と5年間保存	○
	多量排出事業者処理計画の提出(6/30期限)	処理計画書の提出	○
	県知事への年度報告(6/30期限)	管理票交付状況報告書	○
愛知県廃棄物適 正処理条例	委託業者の能力確認、年度現地調査	契約産廃業者の現地確認	○
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事において、 分別解体・再資源化・再生資源の使用の計画 を行う(工事着手7日前まで届出)	届出書の提出	○
建築基準法	石綿・クロルピリホス含有建材の使用禁止	基準法28条の2(施行令20 条)記載のシックハウス対策 の記述基準の遵守	○
	ホルムアルデヒドに関する規制		○
騒音規制法・振動 規制法	騒音・振動発生特定施設、および特定建設作 業の届出(7日前迄届出)	届出書の提出	○
愛知県民の生活 環境保全条例	自動車のアイドリングストップの義務	社員への教育指導 アイドリングストップ表示の掲示	○
	圧縮機3.75KW以上の時、市への届出	届出書の提出	○
浄化槽法	特定行政庁へ設置届	届出書の提出	○
	保守点検基準の遵守	点検結果記録	○
	清掃基準の遵守	清掃結果記録	○
フロン回収破壊法	特定製品の修理・廃棄時の、適正回収・破壊 措置義務	フロン回収登録業者への委託 発注者へ書面による説明	○
グリーン購入法	環境にやさしい事務用品等の購入	対象製品の購入	○
消防法	少量危険物の取扱い(ガソリン40L以下)	保管状況の確認	○
	事務所・倉庫 消防用設備等点検報告(3年毎)	報告の実施	○

法規制の見直し、遵守評価は期末とする。

環境関連法規は「法規制についての遵守評価の記録」に取りまとめ、以下に遵守状況の確認・評価をしまし
確認評価の結果は、環境関連法規の違反はありません。
なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去3年はありません。

8. 代表者見直し記録

(記入年月日) 平成26年 7月25日	(代表者サイン) 加藤 大志朗
1. 変更の必要性	
環境方針	<input type="checkbox"/> 不要・ <input checked="" type="checkbox"/> 要
環境目標	不要・ <input checked="" type="checkbox"/> 要
活動計画	<input type="checkbox"/> 不要・ <input checked="" type="checkbox"/> 要
環境経営システム	<input type="checkbox"/> 不要・ <input checked="" type="checkbox"/> 要
2. 見直し内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境目標の達成状況：環境目標の実績 …水使用量以外、目標達成達成率も前年より上がっている ・ 環境活動計画の実施状況：活動計画実施状況評価 …良好である。 ・ 環境法令等の遵守状況：法令順守評価 …特に問題なし ・ 環境経営システムの運用状況：PDCA評価（文書、記録）…特に問題なし <p>〈環境管理責任者：改善の提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道漏水について、漏水可能性部位への対処を行った上で経過観察をしてきたが、後半期ではほぼ数値が安定してきた状態。その為、目標値の見直しを提案する。 ・ 産業廃棄物・石膏ボードのリサイクルについて、目標設定の為のデータ収集の継続 	
3. 改善のための方策、結論、勧告等 環境管理責任者への指示事項	
<p>① 全社員に対して、環境意識の向上のため、教育を実施のこと。特に以下について現状報告と具体的な依頼をし、意識向上を行う。(平成26年10月末日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガソリン代 単価が上昇していることから、エコドライブ教育の実施。 ・ 水使用量の目標設定について ・その他の項目 継続的な活動の継続 <p>② 事務所水使用量については、25年度の数字を基準に目標を設定する。</p> <p>③ 産業廃棄物・石膏ボードのリサイクルについて データ収集の継続</p>	